

公営企業会計

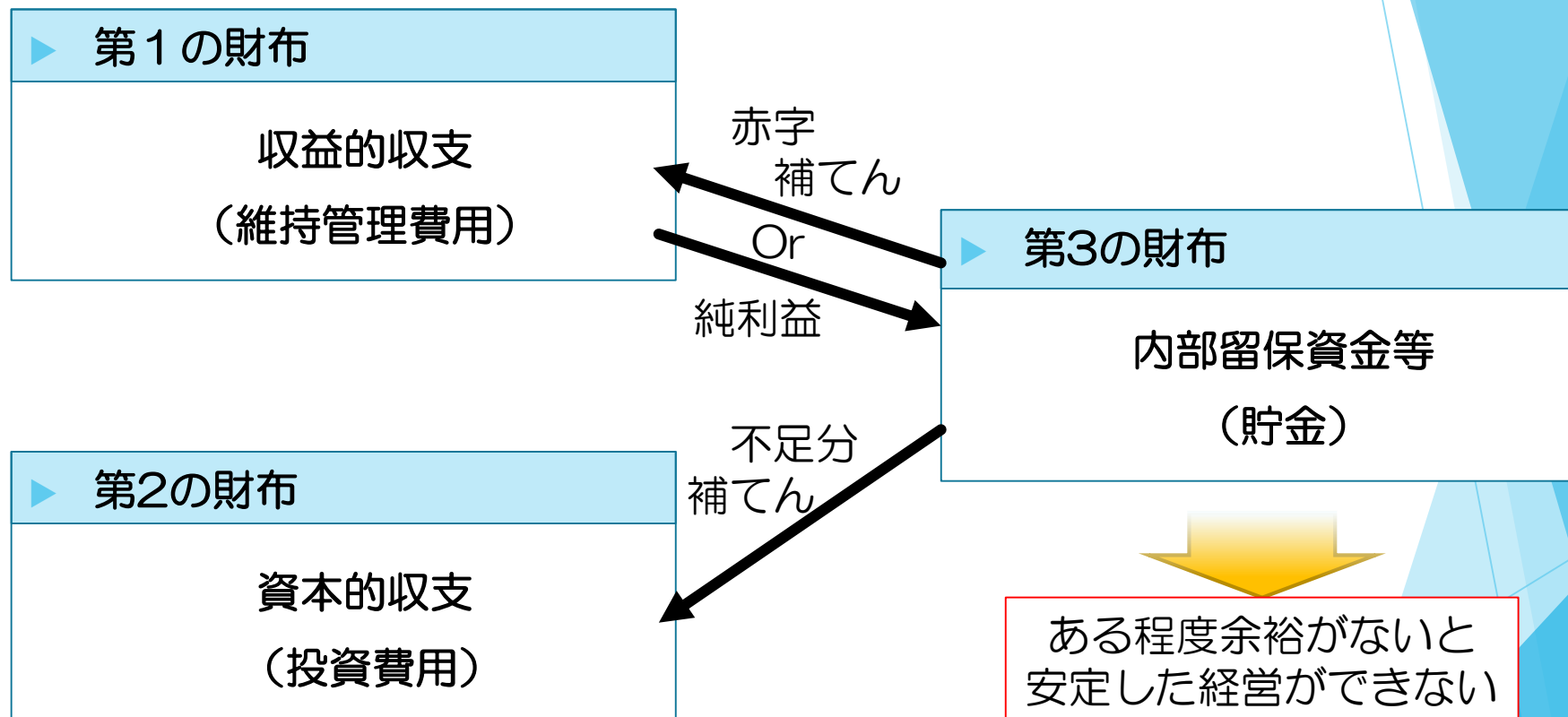
令和7年度 企業局の決算について

経済建設委員会資料

令和8年9月15日提出

公営企業会計予算の仕組み

※ 3つの財布について



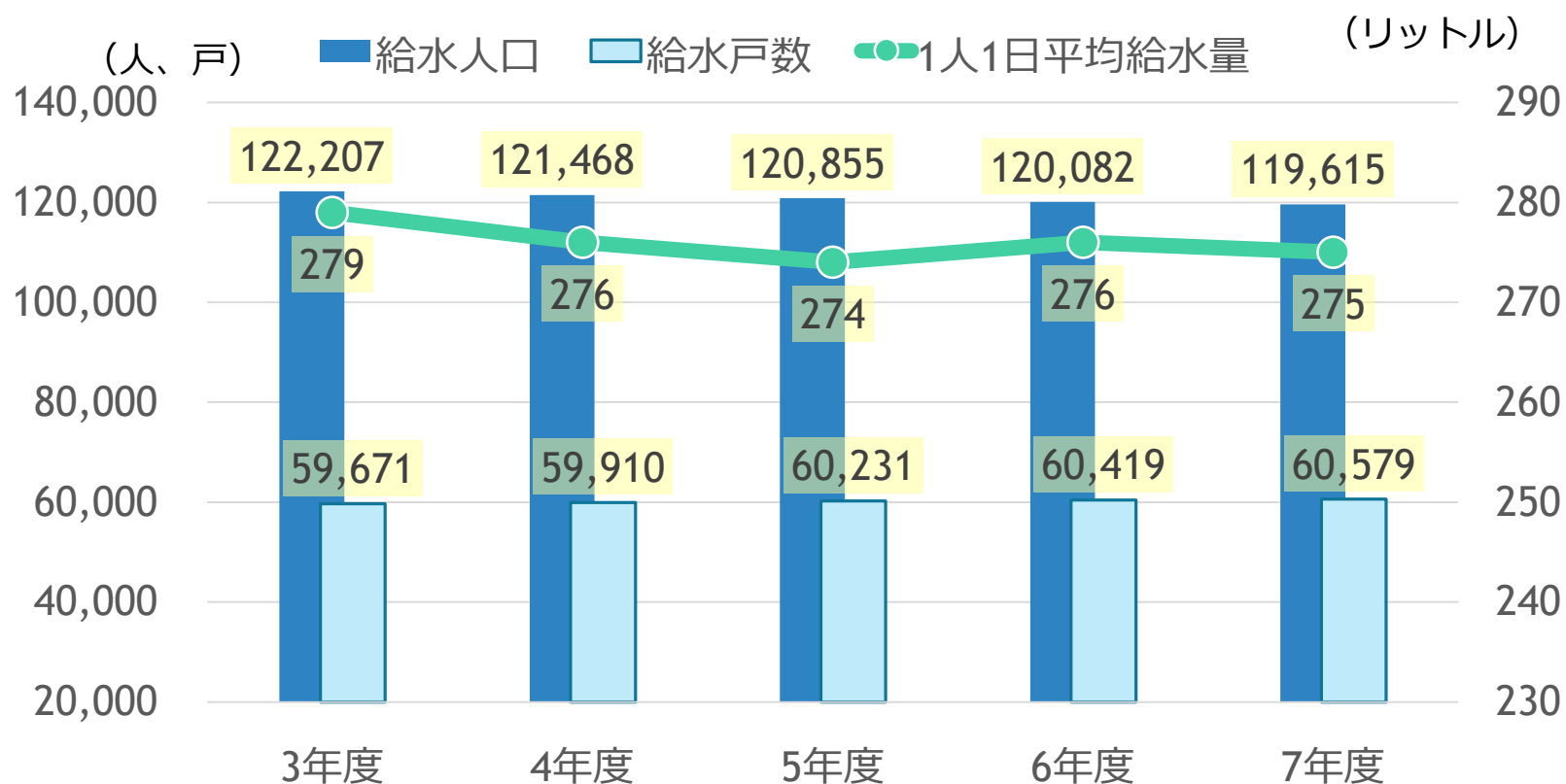
水道事業会計

令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

1-1 水道事業の推移

○給水人口、給水戸数、1人1日平均給水量の推移



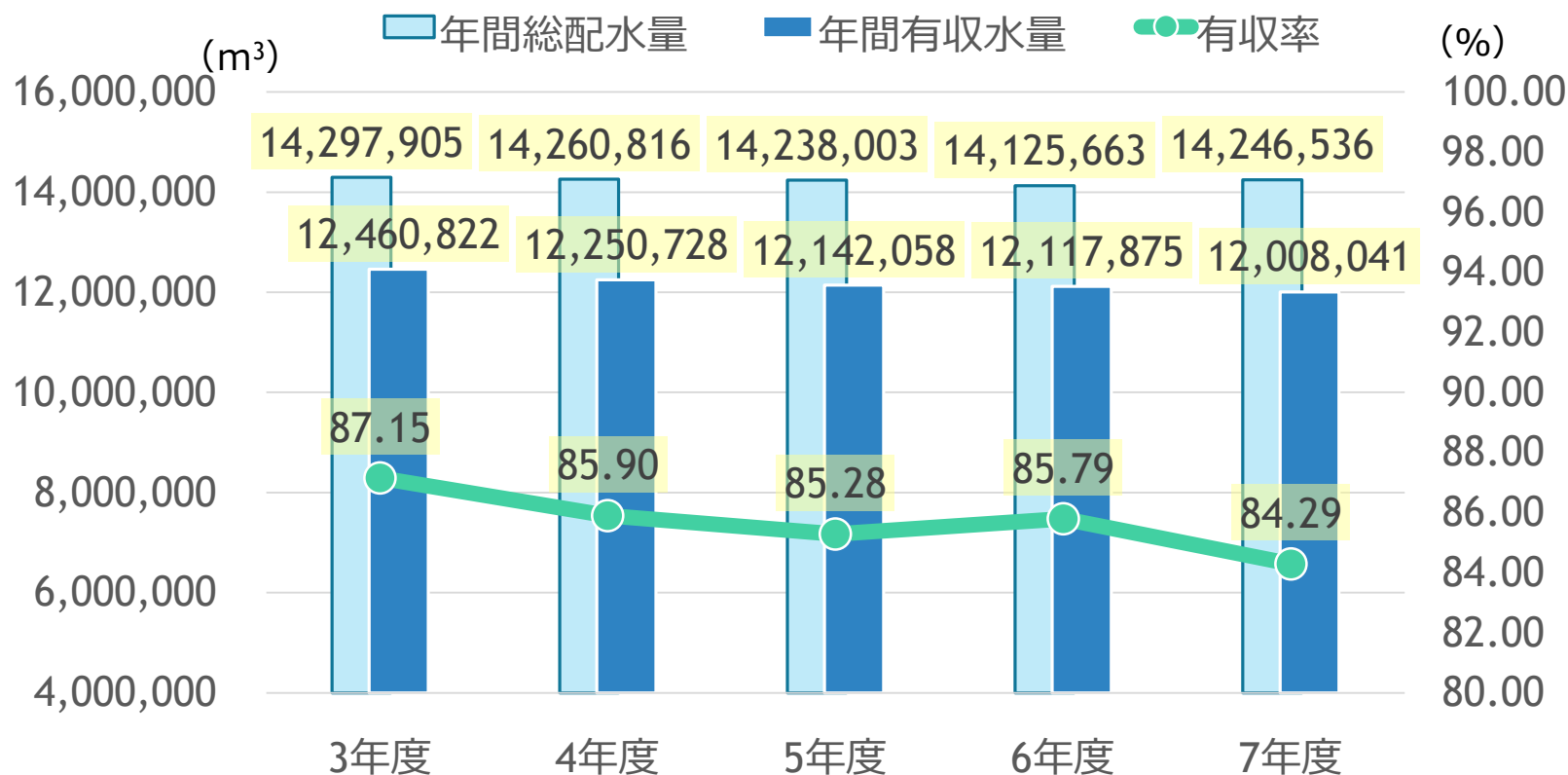
令和 7 年度決算の説明

1 水道事業会計

1-1 水道事業の推移

項目	全国平均	類似団体
有収率 (%)	89.21	88.32

○年間総配水量、年間有収水量、有収率の推移

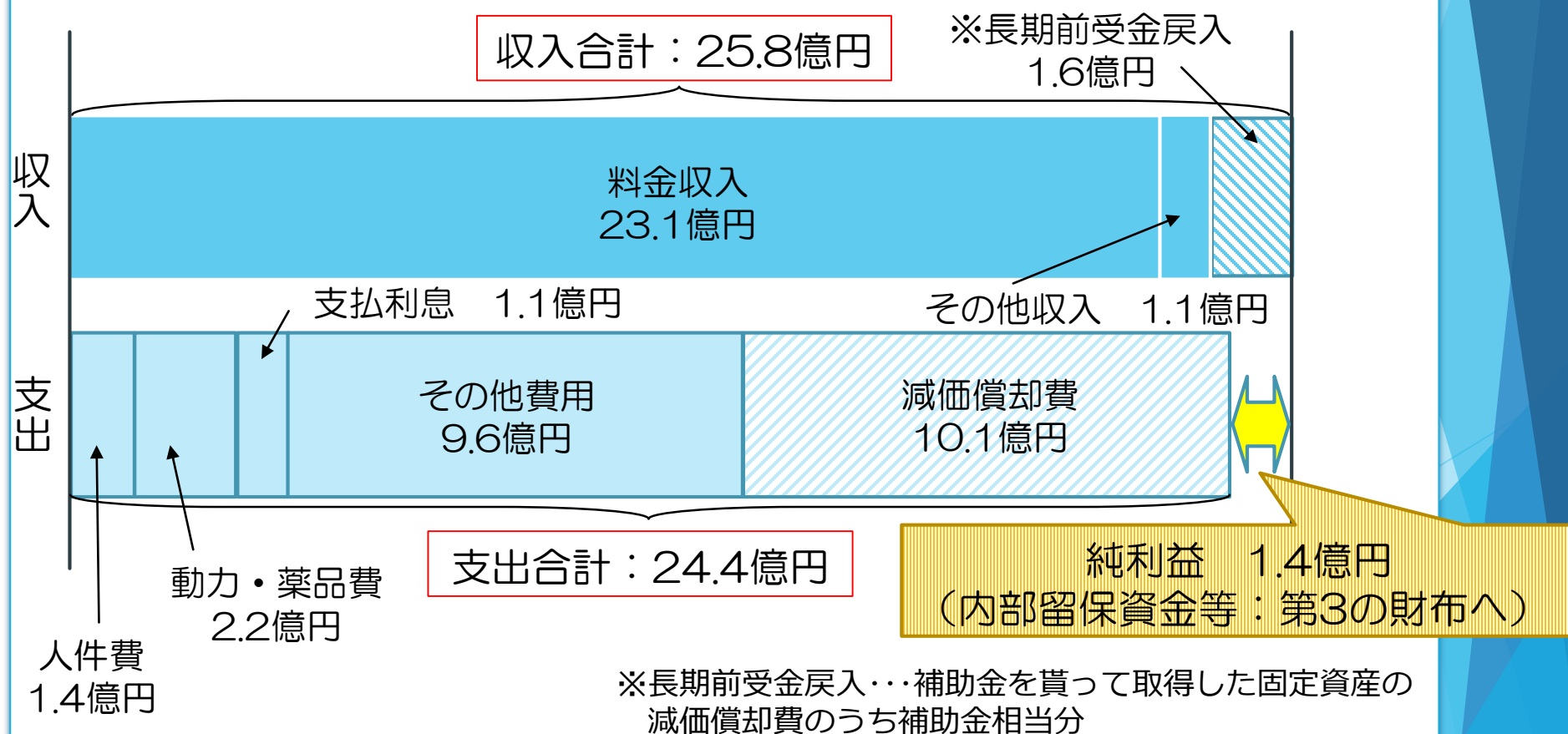


令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

1-2 収支の状況

○収益的収支：第1の財布（税抜）



令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

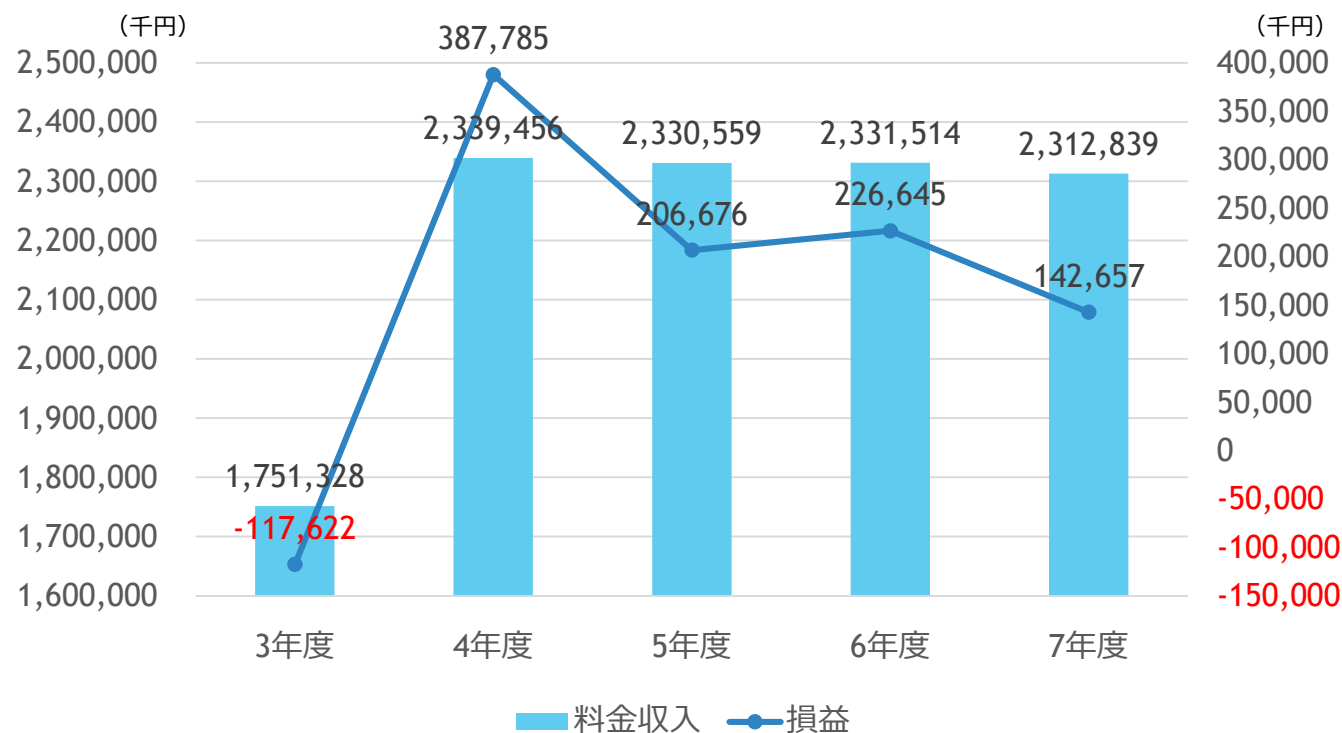
1-2 収支の状況

○料金収入、損益の推移

※料金収入は、消費税を除く

(千円)

項目	経営戦略【3年策定分】 (7年度計画値)	7年度決算	増減
料金収入	2,284,727	2,312,839	28,112
損益(利益)	240,492	142,657	△97,835

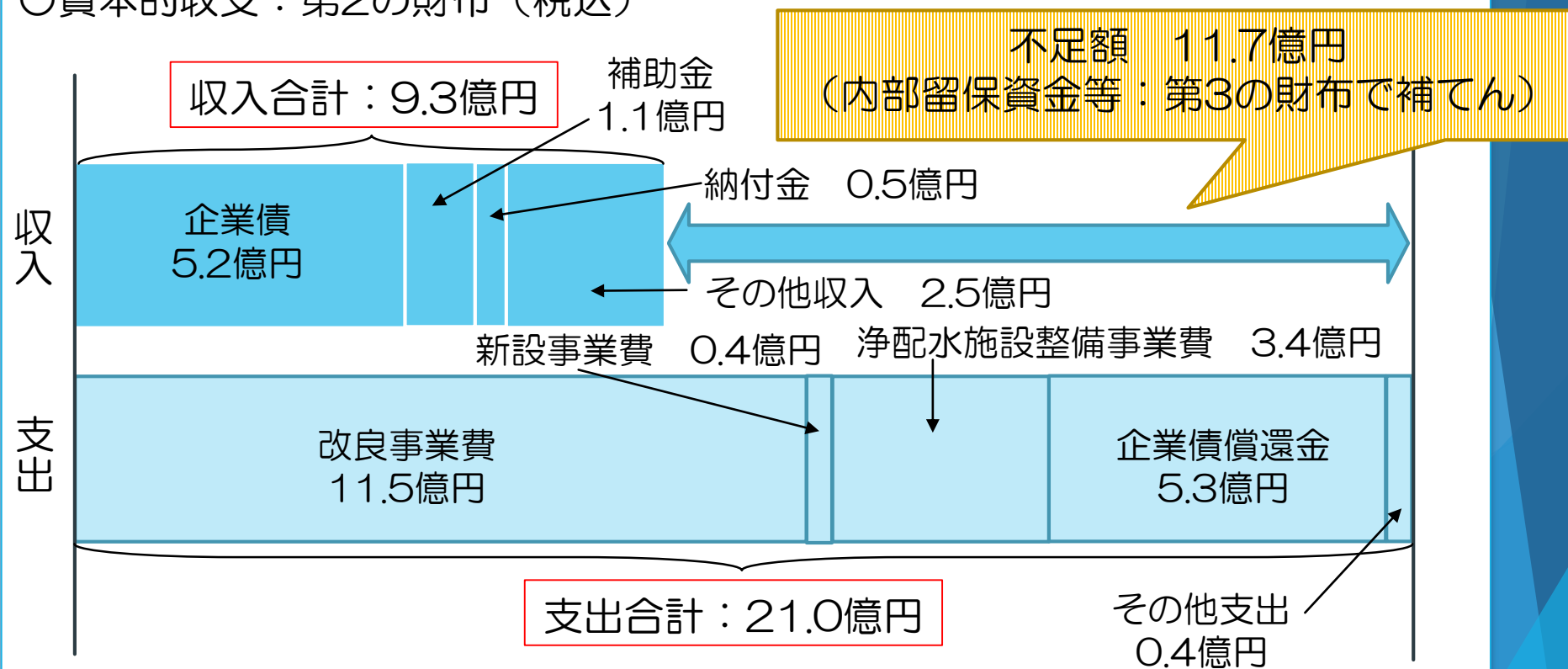


令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

1-2 収支の状況

○資本的収支：第2の財布（税込）



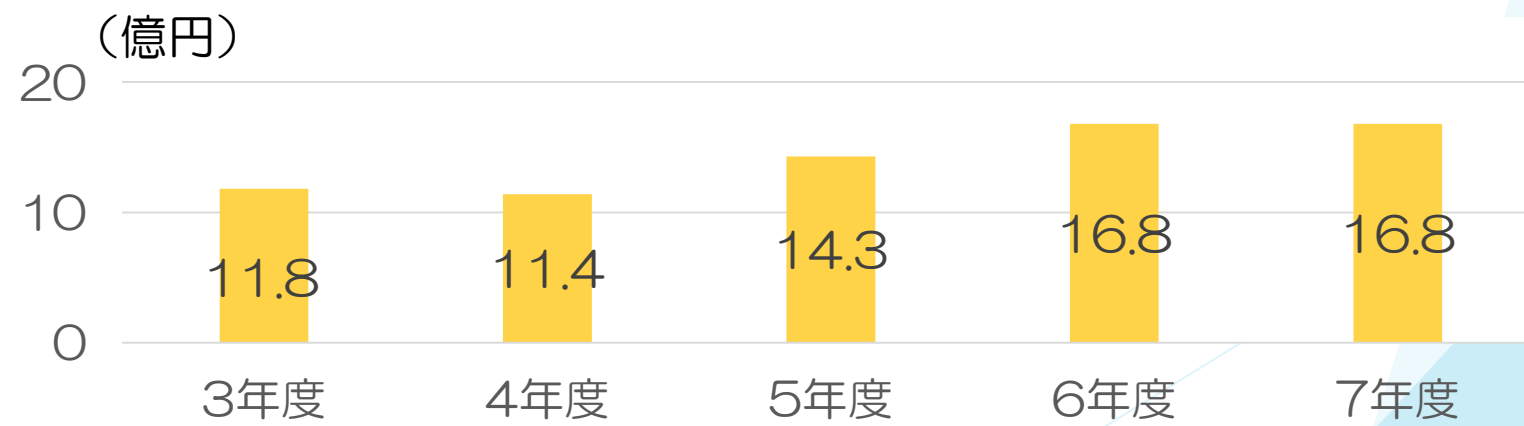
令和 7 年度決算の説明

1 水道事業会計

1-3 水道事業会計の内部留保資金残高の内訳

年度	内容	金額
6	前年度期末残高	16.8億円
7	補てん(資本的収支)	△11.7億円
	当年度分	11.7億円
	当年度期末残高	16.8億円

1-4 水道事業会計の内部留保資金残高の推移 (5年間)



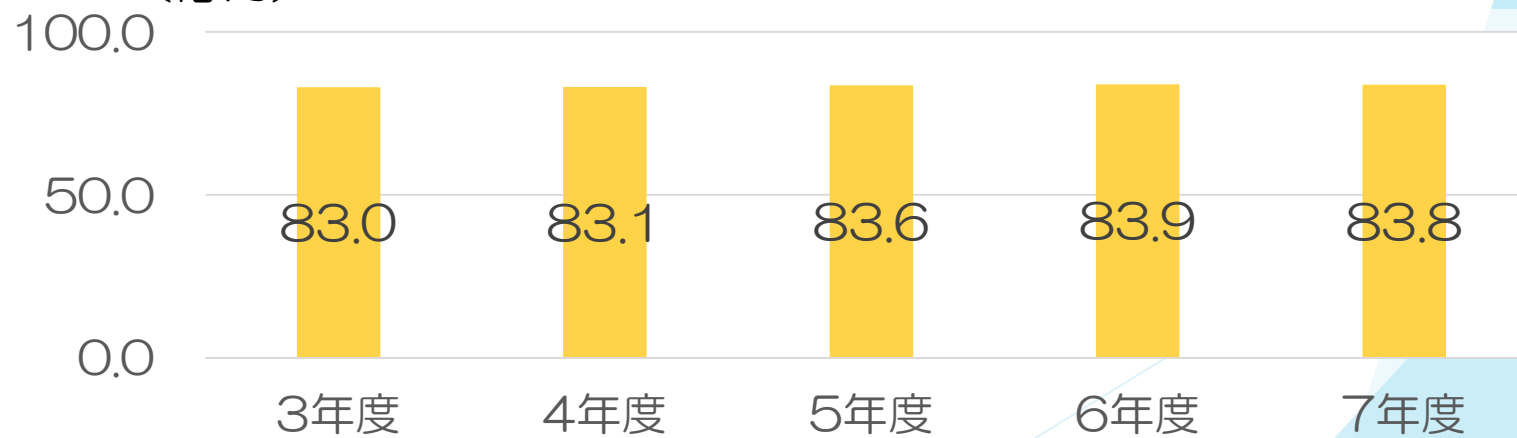
令和 7 年度決算の説明

1 水道事業会計

1-5 水道事業会計の企業債残高の状況

年度	内容	金額
6	前年度期末残高	83.9億円
7	償還（返済）額	△5.3億円
	起債（借入）額	5.2億円
	当年度期末残高	83.8億円

1-6 水道事業会計の企業債残高の推移（5年間） （億円）

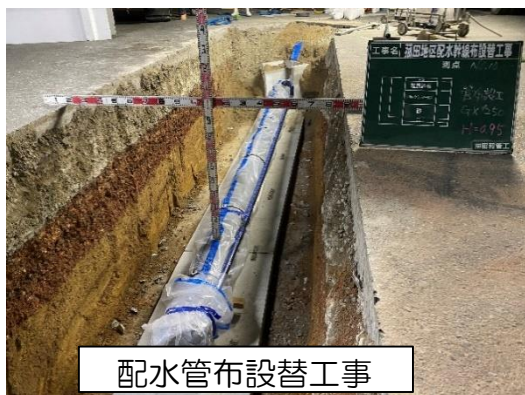


令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

1-7 令和7年度の主な事業

収益的収支（税抜）	資本的収支（税込）
- 水道施設運転管理 及び料金収納等業務委託 5億3,690万円 - 給配水管緊急修繕委託 8,377万円	- 配水施設改良事業 （重要給水施設等配水管布設替工事等） 4億7,669万円 - 諸施設改良事業 （鯰田浄水場生物接触ろ過池界面計改良工事等） 5億4,665万円 - 浄配水施設整備事業 （津原導水管布設替工事等） 3億4,026万円



鯰田浄水場生物接触ろ過池
界面計改良工事

令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

1-8 財務・経営の状況（指標）

項目	令和7年度	令和6年度	類似団体(R6)
経常収支比率 (%)	105.32	109.53	108.49
	経常費用が経常収益でどの程度賄われているかを示す指標。 100%を上回っていれば健全な経営状態となる。 (経常収益/経常費用) × 100		
料金回収率 (%)	104.96	109.70	100.33
	水を作り各家庭に届けるまでの費用を、どの程度水道料金で賄えているかを示す指標。100%を上回っていれば必要な経費を水道料金で賄っているといえる。 $\frac{\text{供給単価 (192.61円)}}{\text{給水原価 (183.50円)}} \times 100$		

令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

1-8 財務・経営の状況（指標）

項目	令和7年度	令和6年度	類似団体(R6)
有形固定資産 減価償却率 (%)	51.08	49.84	52.55
	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを示す指標。数値が高い方が老朽化が進んでいるといえる。 $\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$		
管路経年化率 (%)	27.34	26.51	25.85
	法定耐用年数を超えた管路延長の割合を示す指標。数値が高い方が老朽化が進んでいるといえる。 $\frac{\text{法定耐用年数を経過した管路延長 (262.95km)}}{\text{管路延長 (961.61km)}} \times 100$		
管路更新率 (%)	0.53	0.46	0.57
	当該年度に更新した管路延長の割合を示す指標。 $\frac{\text{当該年度に更新した管路延長 (5.06km※)}}{\text{管路延長 (961.61km)}} \times 100$		
	※布設替工事が完了し、通水した管路延長であり、工事完了後通水していない管路延長0.50kmを含めると5.56kmとなり、管路更新率は0.58%となる		

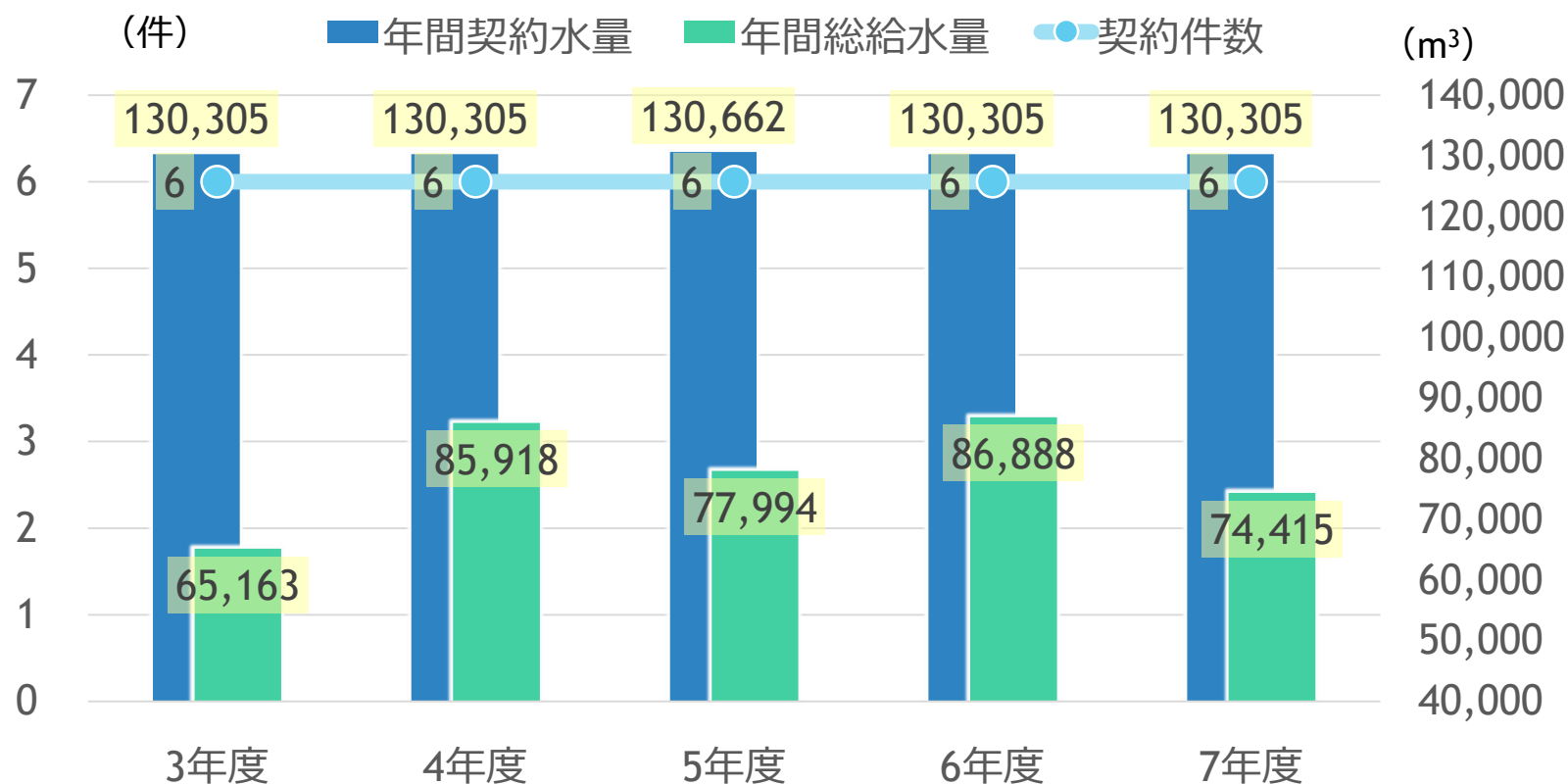
工業用水道事業会計

令和7年度決算の説明

2 工業用水道事業会計

2-1 工業用水道事業の推移

○契約件数、年間契約水量、年間総給水量の推移

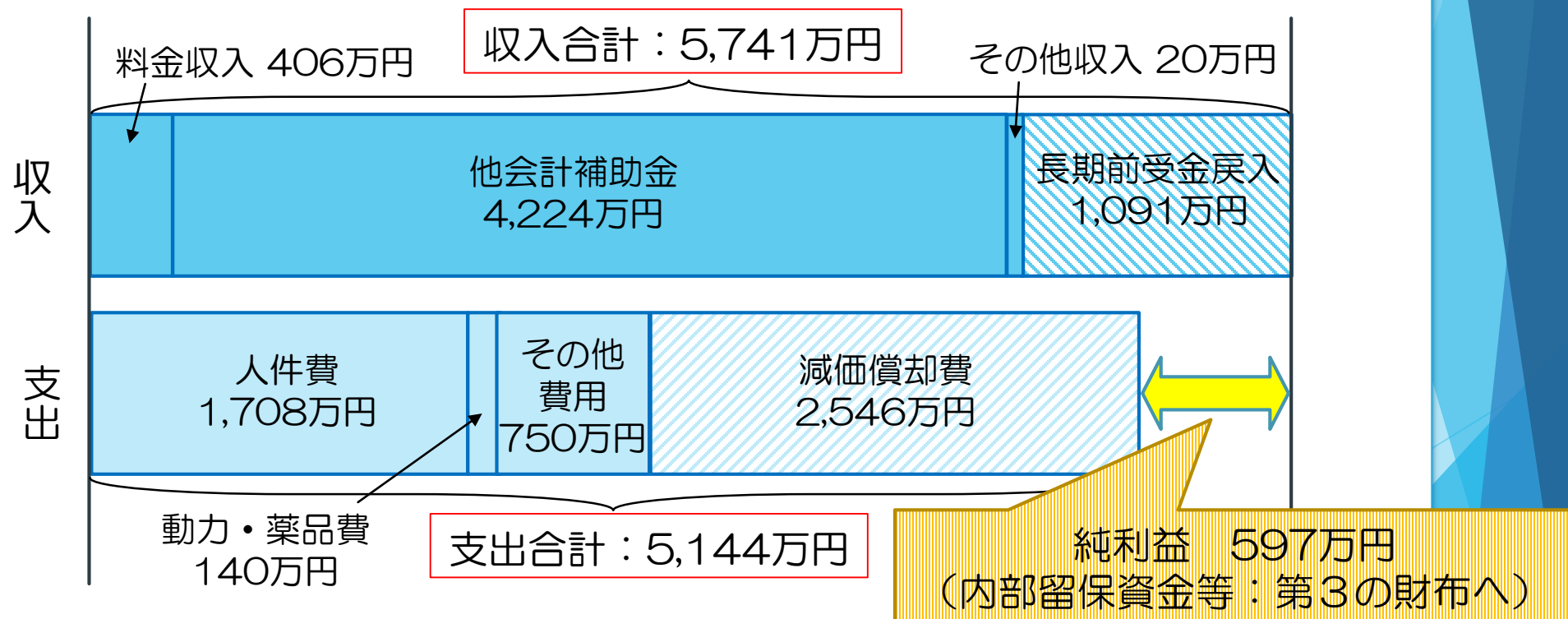


令和7年度決算の説明

2 工業用水道事業会計

2-2 収支の状況

○収益的収支：第1の財布（税抜）



※工業用水道事業は、昭和45年に石炭産業の衰退に対する地域経済の活性化のために市の政策として開始した事業であるため、事業運営に不足する金額は一般会計（市長部局）が負担することとなっている。

令和7年度決算の説明

2 工業用水道事業会計

2-2 収支の状況

○資本的収支：第2の財布（税込）

収入	収入合計：8,507万円
	他会計補助金 8,507万円
支出	浄配水施設整備事業費 8,507万円
	支出合計：8,507万円

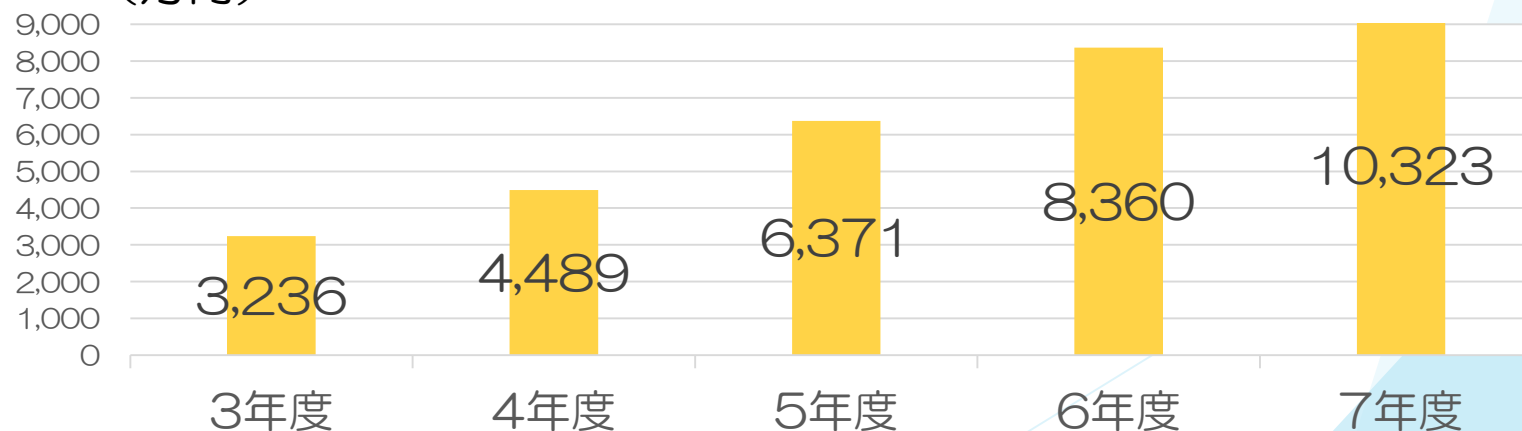
令和 7 年度決算の説明

2 工業用水道事業会計

2-3 工業用水道事業会計の内部留保資金残高の内訳

年度	内容	金額
6	前年度期末残高	8,360万円
7	補てん(資本的収支)	0万円
	当年度分	1,963万円
	当年度期末残高	10,323万円

2-4 工業用水道事業会計の内部留保資金残高の推移 (5年間) (万円)



令和 7 年度決算の説明

2 工業用水道事業会計

2-5 令和 7 年度の主な事業

収益的収支（税抜）	資本的収支（税込）
・ 久保白ダム管理費負担金 189万円	・ 浄配水施設整備事業 （津原導水管更新事業負担金） 8,507万円

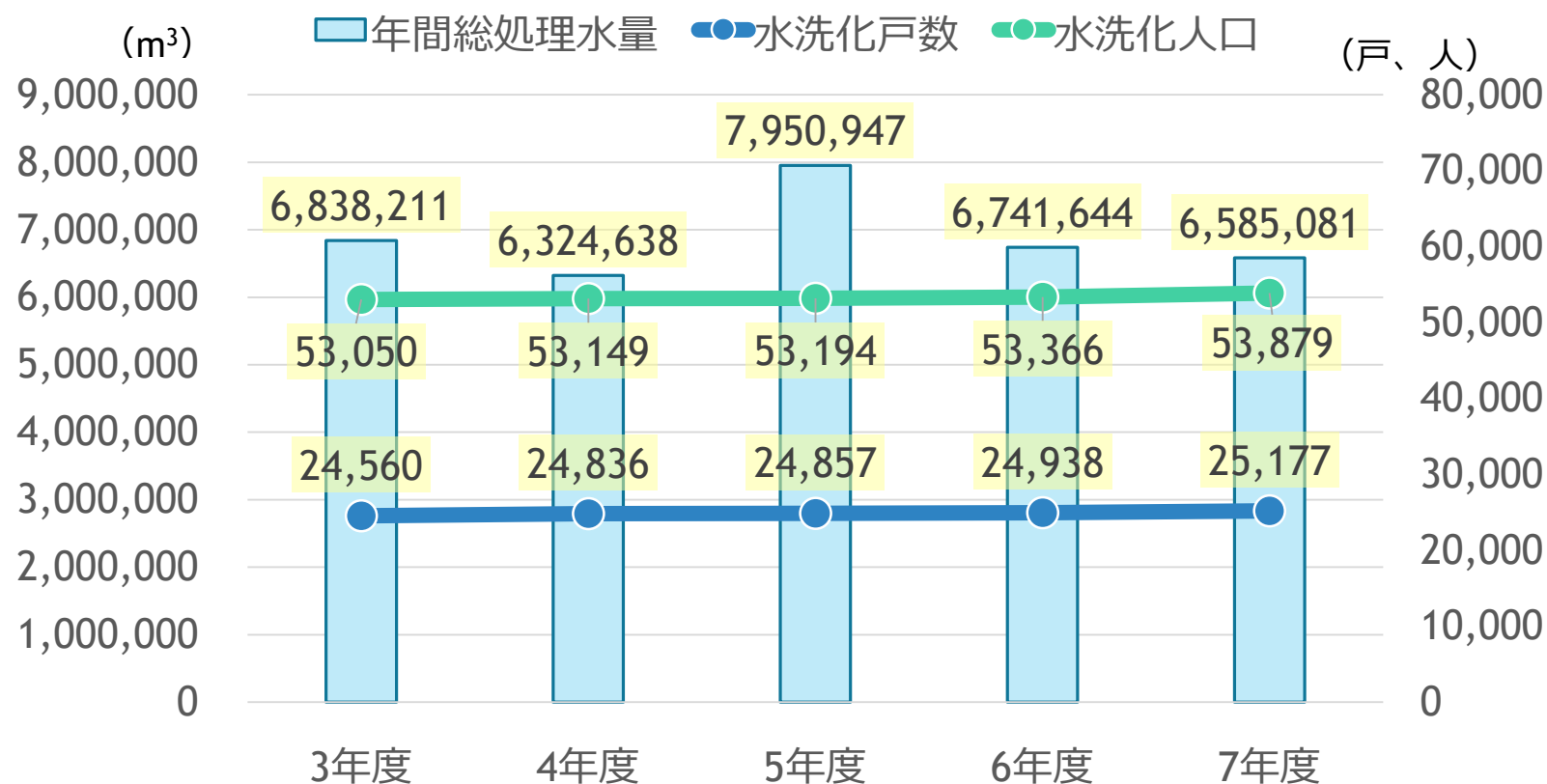
下水道事業会計

令和 7 年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-1 下水道事業の推移

○年間総処理水量、水洗化戸数、水洗化人口の推移

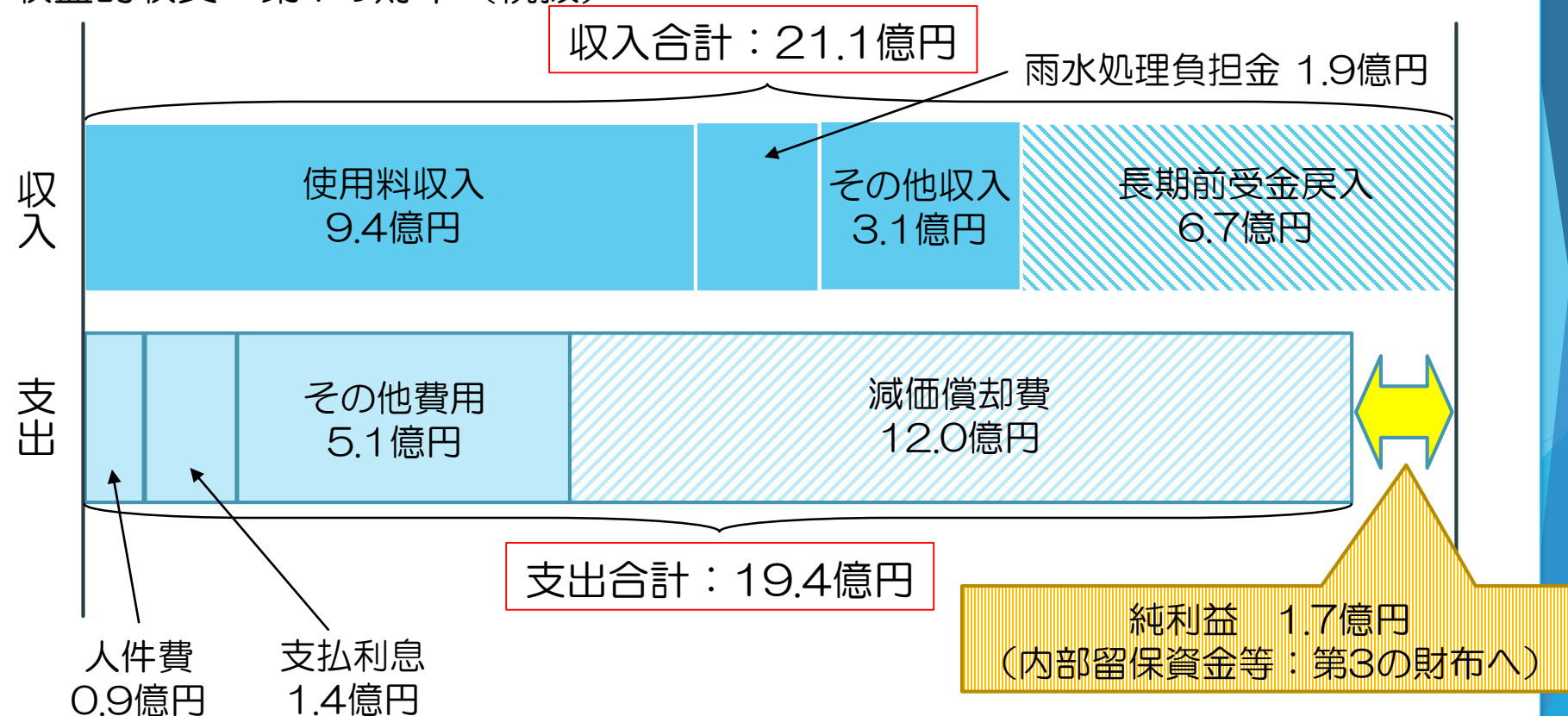


令和7年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-2 収支の状況

○収益的収支：第1の財布（税抜）



令和7年度決算の説明

3 下水道事業会計

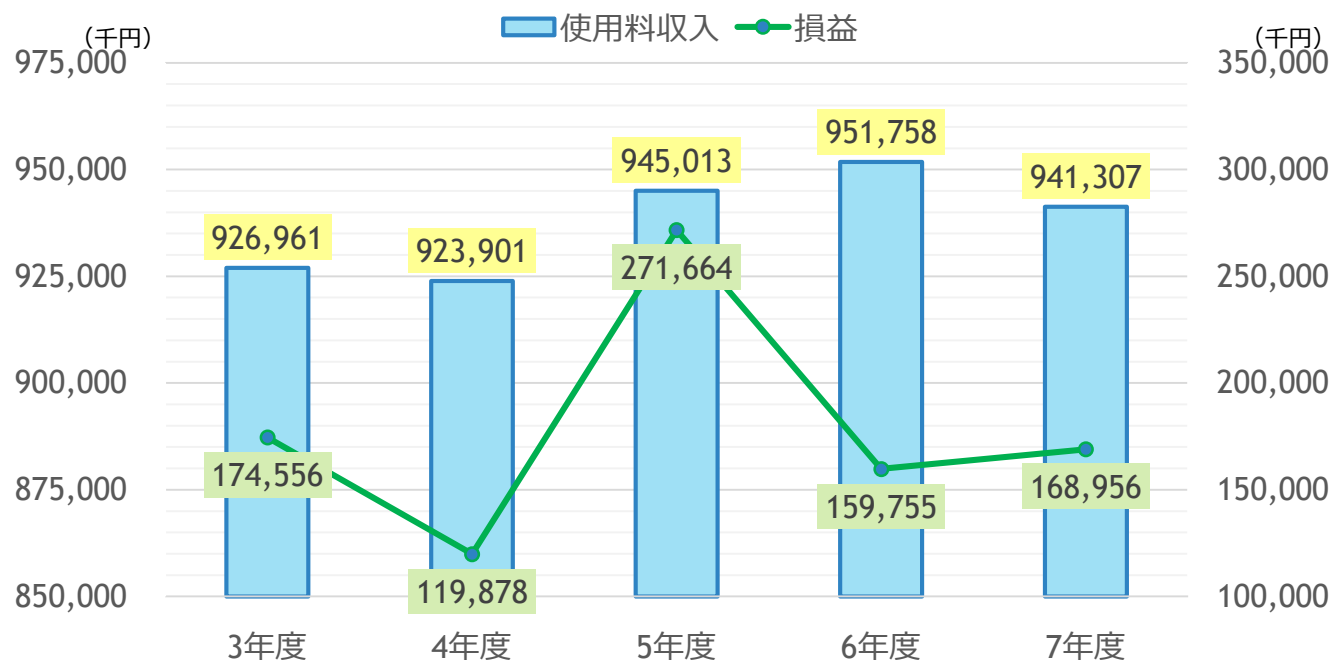
3-2 収支の状況

○使用料収入、損益の推移

※使用料収入は、消費税を除く

(千円)

項目	経営戦略【3年策定分】 (7年度計画値)	7年度決算	増減
使用料収入	929,260	941,307	12,047
損益(利益)	78,779	168,956	90,177

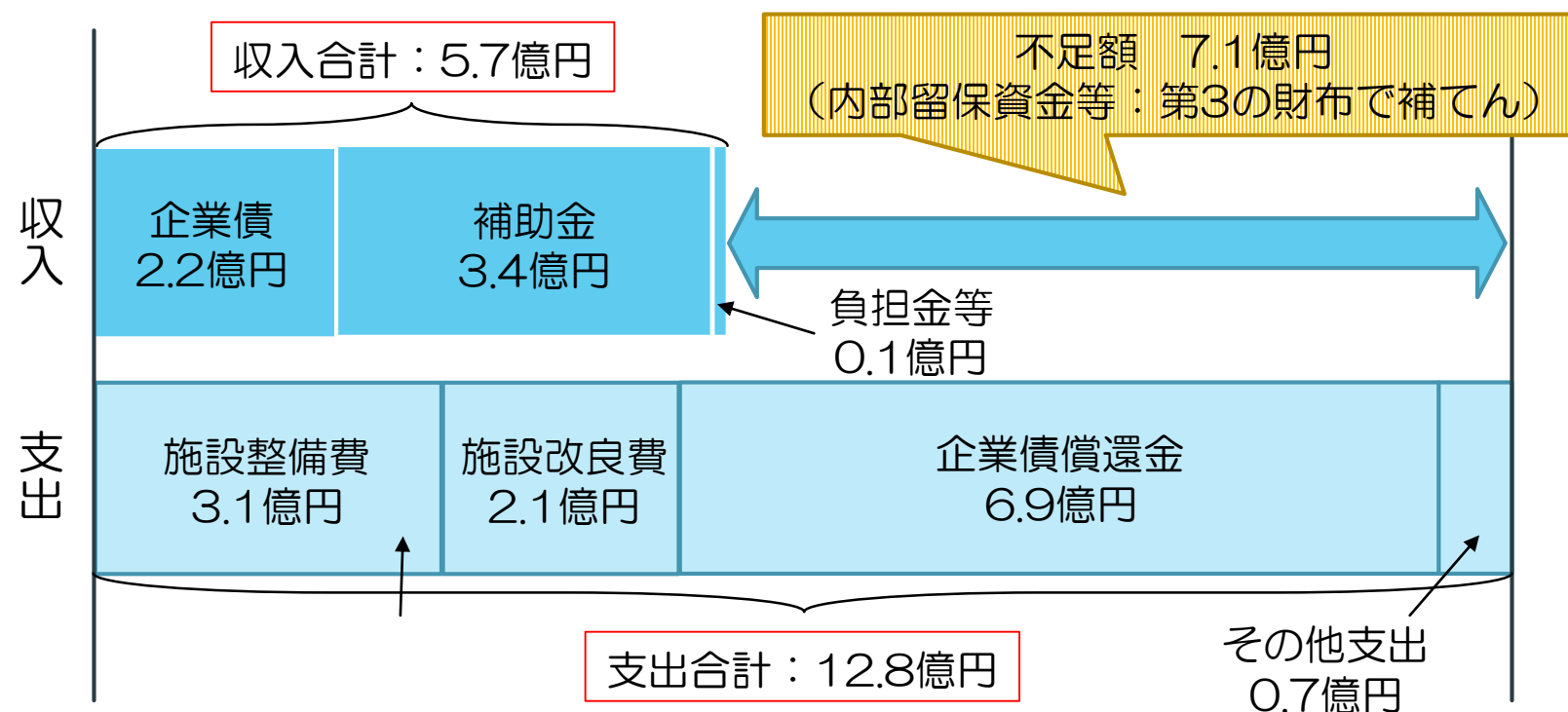


令和7年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-2 収支の状況

○資本的収支：第2の財布（税込）



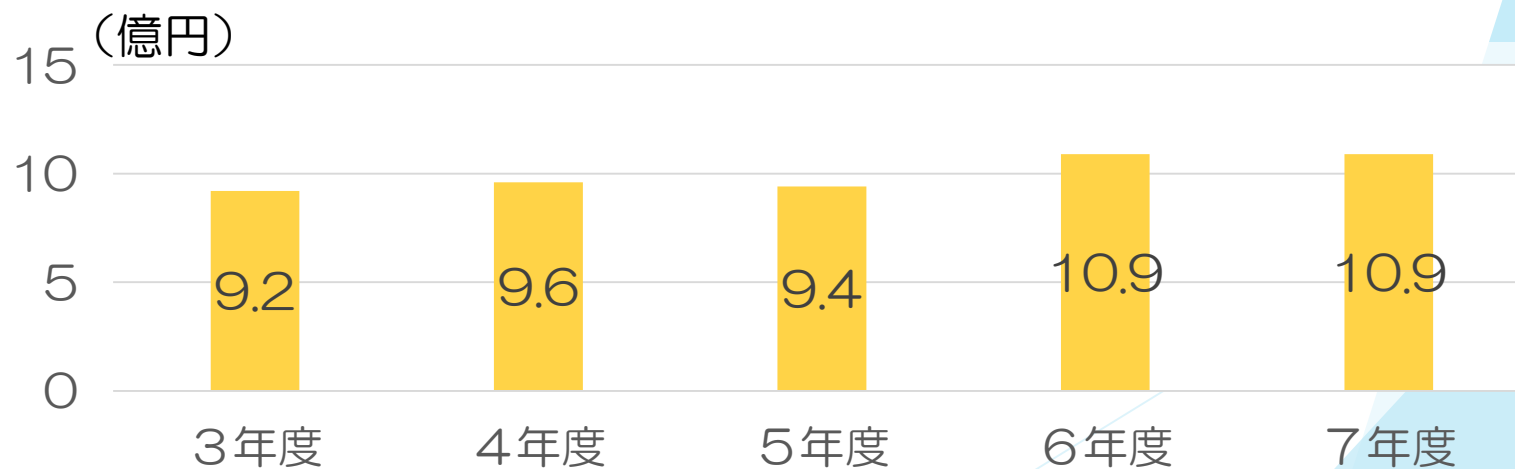
令和 7 年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-3 下水道事業会計の内部留保資金残高の内訳

年度	内容	金額
6	前年度期末残高	10.9億円
7	補てん(資本的収支)	△7.1億円
	当年度分	7.1億円
	当年度期末残高	10.9億円

3-4 下水道事業会計の内部留保資金残高の推移 (5年間)



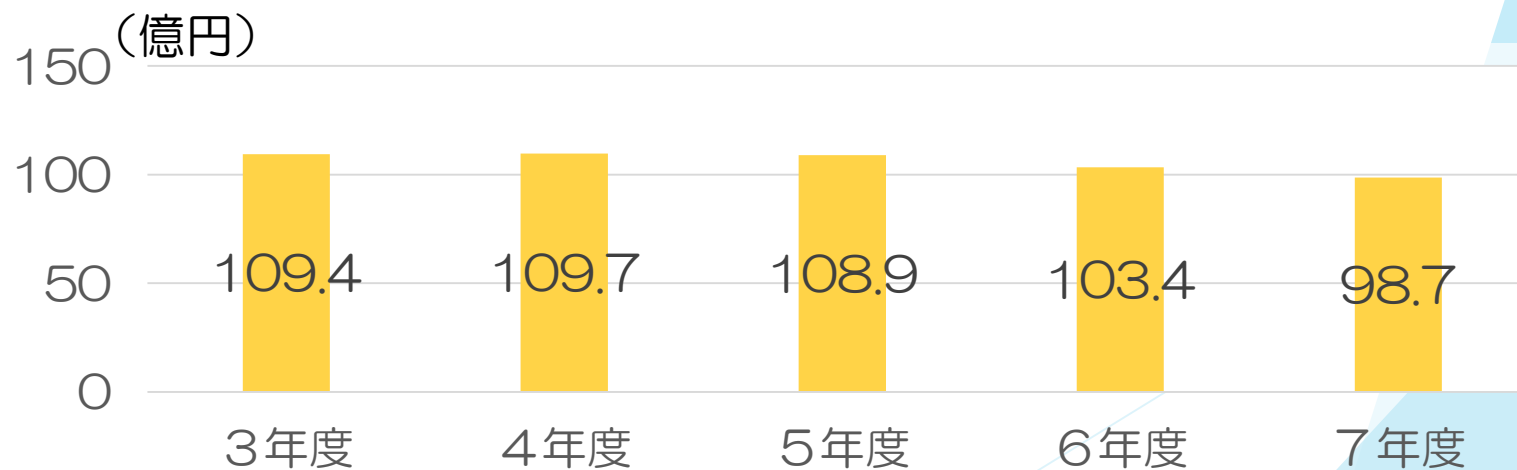
令和 7 年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-5 下水道事業会計の企業債残高の状況

年度	内容	金額
6	前年度期末残高	103.4億円
7	償還（返済）額	△6.9億円
	起債（借入）額	2.2億円
	当年度期末残高	98.7億円

3-6 下水道事業会計の企業債残高の推移（5年間）



令和7年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-7 令和7年度の主な事業

収益的収支（税抜）

- 終末処理場運転管理業務委託
5,400万円
- 終末処理場機器修繕費 6,327万円
- 管路維持管理業務委託 2,457万円
- 使用料賦課徴収事務費負担金
3,414万円

資本的収支（税込）

- 施設整備事業
（鯉田地区污水管渠布設(1工区)工事等)
3億1,334万円
- 施設改良事業
（終末処理場電気設備改築工事等)
2億456万円



令和7年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-8 財務・経営の状況（指標）

項目	令和7年度	令和6年度	類似団体(R6)
経常収支比率 (%)	108.30	108.29	106.35
	経常費用が経常収益でどの程度賄われているかを示す指標。 100%を上回っていれば健全な経営状態となる。 (経常収益/経常費用)×100		
経費回収率 (%)	100.00	100.00	97.98
	汚水処理の費用を、どの程度下水道使用料で賄えているかを示す指標。100%を上回っていれば必要な経費を下水道使用料で賄っているといえる。 (下水道使用料/汚水処理費)×100		

令和7年度決算の説明

3 下水道事業会計

3-8 財務・経営の状況（指標）

項目	令和7年度	令和6年度	類似団体(R6)
有形固定資産 減価償却率 (%)	49.27	47.90	31.89
	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを示す指標。数値が高い方が老朽化が進んでいるといえる。 $\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$		
管渠老朽化率 (%)	13.09	10.06	3.24
	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を示す指標。数値が高い方が老朽化が進んでいるといえる。 $\frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長（43.45km）}}{\text{管渠延長（332km）}} \times 100$		
管渠改善率 (%)	0.03	0.00	0.08
	当該年度に更新した管渠延長の割合を示す指標。 $\frac{\text{当該年度に更新した管渠延長（0.10km）}}{\text{管路延長（332km）}} \times 100$		

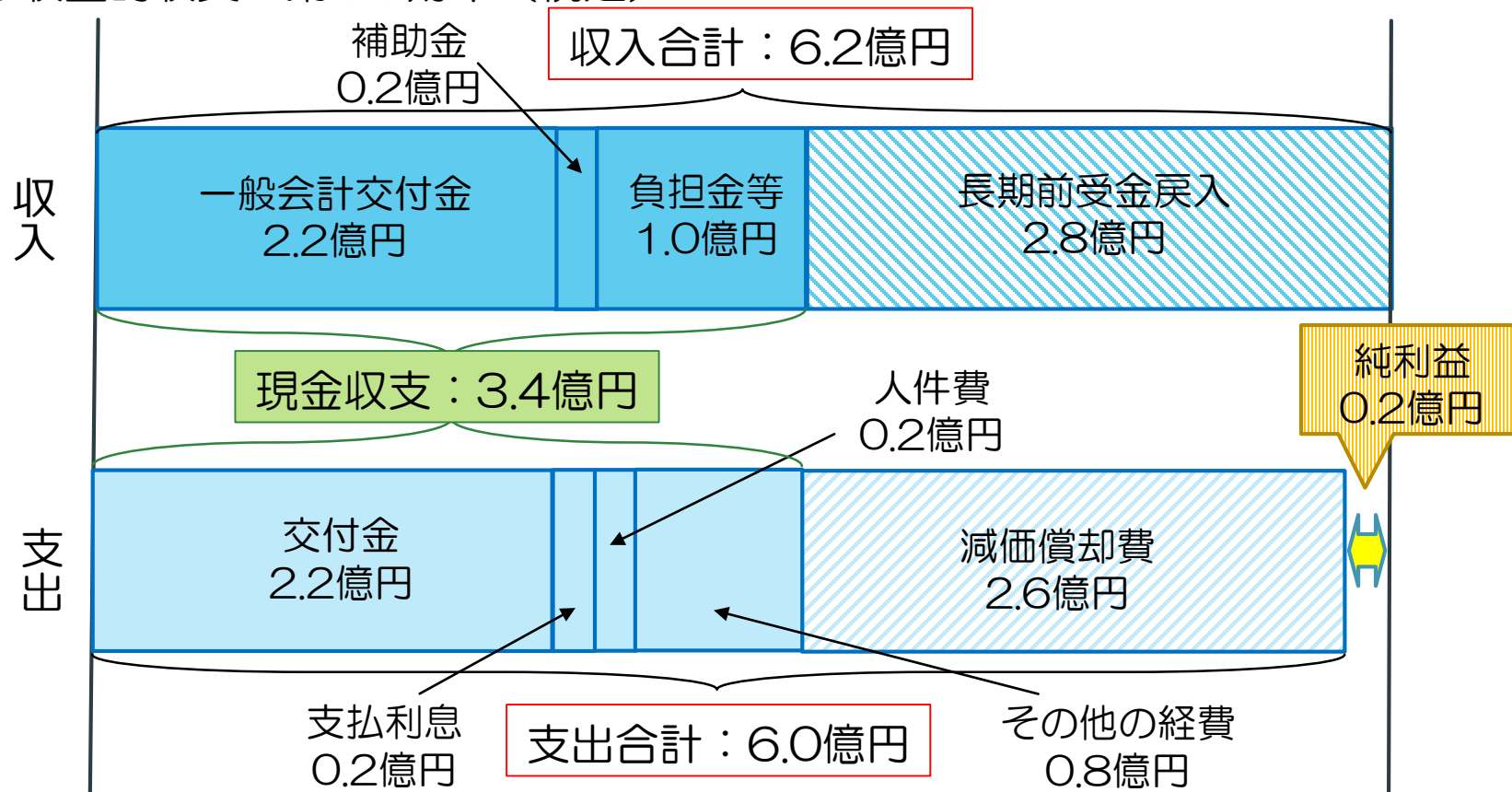
病 院 事 業 会 計

令和7年度決算の説明

4 市立病院事業会計

4-1 収支の状況

○収益的収支：第1の財布（税込）



令和7年度決算の説明

4 市立病院事業会計

4-1 収支の状況（収益的収支の剰余金計算）

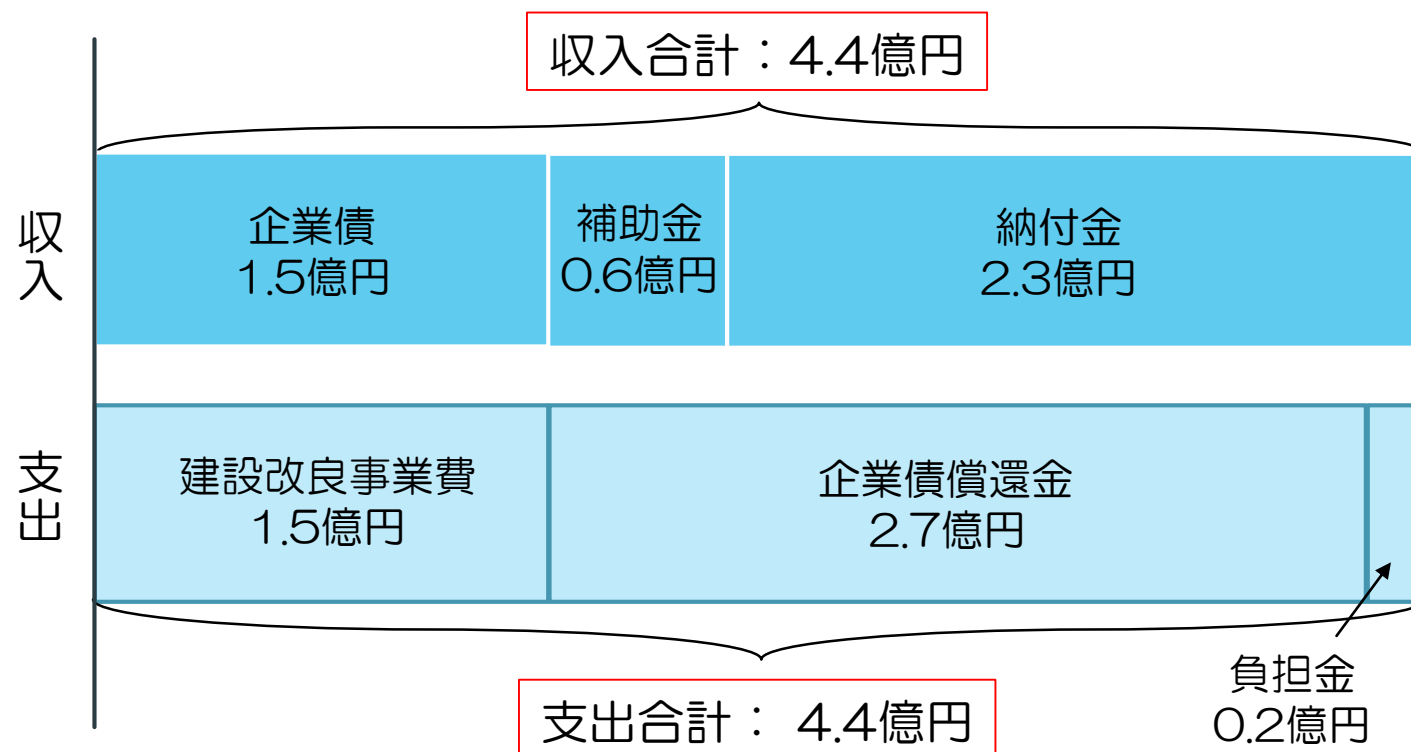
項目	金額
当年度 純利益	1,575万円
前年度繰越欠損金	8億8,082万円
当年度未処理欠損金	8億6,507万円

令和7年度決算の説明

4 市立病院事業会計

4-1 収支の状況

○資本的収支：第2の財布（税込）



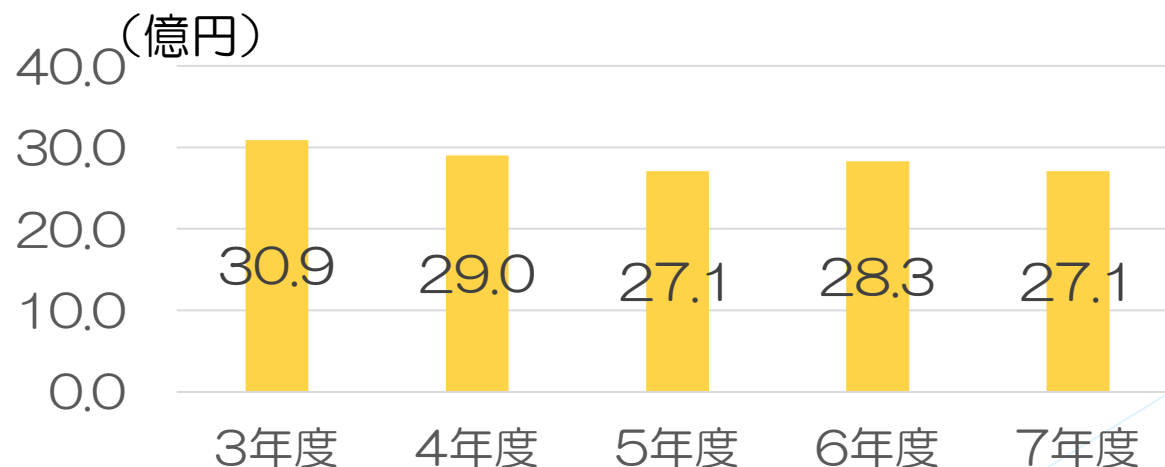
令和 7 年度決算の説明

4 市立病院事業会計

4-2 市立病院事業会計の企業債残高の状況

年度	内容	金額
6	前年度期末残高	28.3億円
7	償還（返済）額	△2.7億円
	起債（借入）額	1.5億円
	当年度期末残高	27.1億円

4-3 市立病院事業会計の企業債残高の推移（5年間）



※企業債の元利償還金は、当該年度に算入される交付税の額を除き、指定管理者の負担となっている。

【病院事業債の場合】
指定管理者負担 75%
一般会計負担(交付税措置分) 25%